

# Global Design Lecture & Seminar

## Global Design Seminar 1 14:55-15:50

### 「日本のマイクロソフト開発チームにおける データドリブン開発の実例」

倉竹 悠 (マイクロソフトディベロップメント株式会社)

オフィス開発統括部 シニアソフトウェアエンジニア

ここ数年、「モバイルファースト・クラウドファースト」を掲げ（中略）数年にもわたる開発モデルから、数週間から一か月を単位とするアジャイル型の開発へのシフトを行ってきました。そのなかで、データとユーザーフィードバックに基づく開発モデルの実践を、一つの柱として掲げ、重点的に取り組んでいます。日本の開発チームが関わった、Microsoft Office日本語版、Office Lens等モバイルアプリ、Webサービスそれぞれの開発プロジェクトの中で、データとユーザーフィードバックをどのようにして仮説設定・機能設計・品質計測と改善に取り入れてきたか、いくつかの実例をそこで使用したツールの実例とともにご紹介します。

## Global Design Seminar 2 15:50-16:40

### 「人はなぜ絵を描くのか～『未来に何を作り出すのか』の追求～」

中内健二 (国際技術開発株式会社 代表取締役会長)

私たちは何をやるか？創造やイノベーションの基本は「What」であって「How」ではありません。私たちは40年間研究開発をメインのビジネスとして仕事をしてきました。多くの海外からの研究者を受け入れグローバルな研究を展開してきました。新しく中国に新しく研究開発拠点を設け、イノベーションを目指して研究開発を進めています。そこから見えてきた課題や、インターナシッピ、日本と中国の差、これからどのようにイノベーションを進めていくのか？若い研究者が何を目指すべきなのか？などを、これまでの経験を基に話します。活発な議論を期待しています。

10月21日 (水) 14:55～16:40

工学部2号館3階 電気系会議室 1AB

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp)